

# 孫文ゆかりの舞子の移情閣を拠点に、中国との友好の輪を広げていきます。

## 移情閣友の会

「舞子の六角堂」<sup>※</sup>として親しまれている移情閣を拠点に、孫文や中国などに関心のある人々が始めた『移情閣友の会』では、交流の輪が広がっている。

同会は、移情閣が昨年十一月に、孫中山記念館として一般公開されるようになったのを機に発足した。

会員は、およそ四百人。年齢や職業などを超えて、いくつかの講座や同好会、イベントなどを通して親睦を深めるなど、様々な企画を組み合わせ、一般の人にも参加を呼びかけている。

今年、孫文誕生百二十年にあたるので、その記念

講座も開かれる。また「孫文と神戸」のようなテーマで、春と秋に定期講座を行っている。

七月には、北京大学の見学などを織り込んだ一週間ほどの中国旅行も計画。かつて中国に住んでいた人からの参加希望も入っているとか。

地域の人にも親しんでもらおうということで、夏には「舞子音頭」を復活させて盆踊り大会を。秋には、バザーといった楽しいイベントも予定し、ふれあいの広がりを図っている。

このほか、中国語、太極拳などの既存の同好会に加

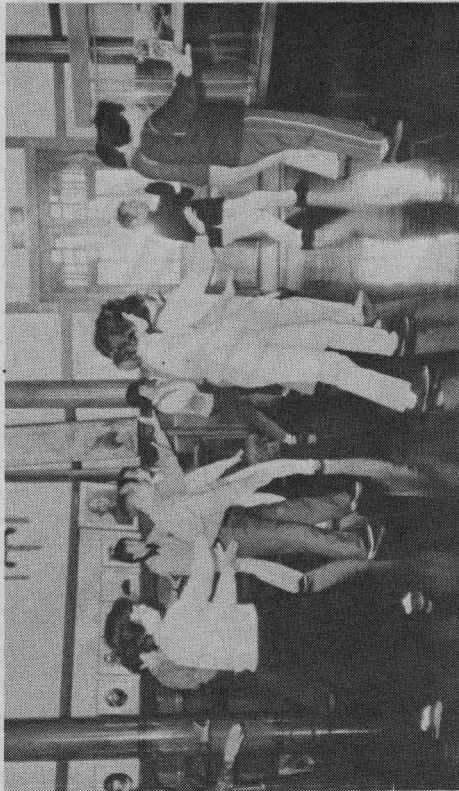
えて、三味線に似た中国楽器、胡弓同好会というユニークな会も新設とのこと。

講師や、スタッフには、神戸大学の教授や留学生、中国大使館関係者、中国残留孤児などの多彩な顔ぶれがそろっている。内容的にもかなり密度の濃いものが期待できそうだ。

「一つ一つの小さな輪が世界に広がったらすてきですね。姫路などで、支部という声も上がっていますよ」と、企画委員長の河合純子さん。年会費千円で移情閣の利用などの特典もある。問い合わせは左記へ。

### ■移情閣友の会

垂水区東舞子町二〇二八  
☎七八三―七二七二



太極拳など同好会の活動も盛んです